

各位

彩の国連携力育成プロジェクト (SAIPE)
IPW (多職種連携) ワークショップ担当
村田 勇・小糸 寿美 (城西大学)
畔上 光代・吉村 基宜 (埼玉県立大学)

彩の国連携力育成プロジェクト + 埼玉県職能団体 (Sai_UPPs)

「IPW (多職種連携) ワークショップ (緩和ケアIPW研修会) ~模擬事例作成を通じた他職種理解~」
ご案内

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

彩の国連携力育成プロジェクト (SAIPE) では、埼玉県立大学、埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学および埼玉県が協定を締結し協働した「文科省の大学間連携教育事業」において、平成28年度 (2016年度) までに学部教育の「連携力育成教育プログラム」開発と実践に取り組み、その後、“実践者向け多職種連携教育プログラム”を構築して参りました。そこで、今回は職種間の垣根を超えた多職種連携力を育成するためのワークショップを企画いたしました。

本ワークショップは、緩和ケアが必要な患者さんの情報を基に、より実践的な多職種連携を学べる模擬事例を新たに作成することを課題としたワークショップです。本ワークショップを通じて、多職種連携ではどのようなことが大事になるのかを理解・共有し、同時に普段の業務・実践において、他職種の観点や立場・役割を想像することで、より円滑な連携および統合されたケアの創造に繋がることを期待しております。

つきましては、チーム編成等の準備がございますので、下記申込先への事前申し込みをよろしくお願いいたします。申込者には事前に緩和ケア患者情報をメールでお送りいたします。

以上

—記—

日時：2026年11月8日 (日) 10:00~16:00

会場：ウエスタ川越 2階 会議室1

参加費：無料

内容：現職者の皆様がこれまで抱えてこられた問題点や解決方法を共有し、多職種連携を学ぶための模擬事例の作成を行います。

申し込み方法

1) 申込先：以下の URL または右の QR コードから申し込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/f4f13fa7347114>

2) 申込必要事項

①氏名、②主となる専門資格、③他の専門資格、④勤め先、⑤連絡先 (E-mail, TEL)

3) 定員：計 30 名

4) 締め切り **2026年10月16日 (金) 17:00** ※先着順 (定員になり次第、締め切り)

※彩の国連携力育成プロジェクト (<https://www.spu.ac.jp/academics/ipe/tabid332.html>)



お問い合わせ先 埼玉県立大学 畔上 光代 (azegami-mitsuyo@spu.ac.jp)

令和8年6月吉日

彩の国連携力育成プロジェクト + 埼玉県職能団体 (Sai_UPPs)

「IPW（多職種連携）ワークショップ（緩和ケアIPW研修会）～模擬事例作成を通じた他職種理解～」
企画書

日程：2026年11月8日（日）10:00～16:00

会場：ウェスタ川越 2階 会議室 1

目的

例年実施しております「緩和ケアIPW研修会」は、緩和ケアに特化した利用者中心の統合されたケアを創造するために、「利用者・地域の問題解決プロセス」の模擬的実践（模擬患者の協力）を通して、緩和ケアにおける「チーム形成プロセス」、および「組織や機関間・地域連携プロセス」にも意図的に目を向け、より良い緩和ケアIPWの方法やあり方を考える機会としています。昨年度は新しい試みとして、実際に患者を支える現職者が抱える問題点や解決策を共有し、より実践的な多職種連携の模擬事例を新たに作成することを目指したワークショップを実施いたしました。この試みから模擬事例の実装に向けて、本年度も昨年度と同形式でワークショップを実施いたします。本ワークショップを通じて、多職種連携ではどのようなことが大事になるのかを理解・共有し、同時に普段の業務・実践において、他職種の観点や立場を・役割想像することで、より円滑な連携および統合されたケアに繋がることを期待しております。

[目標]

- 1) 利用者・地域資源の理解と課題解決の実践方法を意図的に確認する
- 2) チームメンバーの専門性と多様性を相互理解する態度を意図的に確認する
- 3) チーム形成プロセスと協働の実践方法を意図的に確認する
- 4) 組織や機関間・地域連携プロセスの実践方法を意図的に確認する
- 5) IPWワークショップで作成した事例の解決策を見出す
- 6) IPWワークショップを振り返り、意味づけ、自己の課題および所属施設における課題（チーム課題、専門職としての課題、地域連携課題等）および解決策を見出すためのリフレクションが意図的にできる

[ゴール]

- ・自職種が学べる事例を作成する
- ・自分の悩み・問題を共有し、共感してもらうことで、明日からの勇気と活力になる
- ・他職種の人の悩み・問題を聞いて、自分の職場や現場で出会う人に対しても連携や手助けを想像することができるようになる
- ・「多職種連携とはこういう時にこそ大事なのだなあ」と思うような新たな発見を見出し、明日から頑張ろうという気持ちになる

IPW（多職種連携）ワークショップ実施スケジュール概略（予定）

10:00～12:30（2.5時間）	午前の部
・ 10:00～10:05	（開会）
・ 10:05～10:25	（IPWワークショップ説明）
・ 10:25～12:30	（アイスブレイク、ワーク）
12:30～13:30（1時間）	休 憩
13:30～16:00（2.5時間）	午後の部
・ 13:30～14:50	（事例の整理）
・ 14:50～15:50	（報告会）
・ 15:50～16:00	（リフレクション、閉会）